



井田 孝 議員



銚子連絡道路整備について

問 例えば四角くて大きい畑があったとして、それを斜めに連絡道路が通った場合、残された隅の土地は買収の対象にならないと県から説明があった。そういうケースで反対者が出てくることも考えられるが、その場合は市として、県と地権者の間に入りサポートすることは考えられるのか。

答 用地交渉では様々な相談や要望があると思われる。市として早期の開通に向け、県と協力し事業を推進したいと考えている。地権者の方から相談があった場合は、適切に対応したい。

問 市としては匝瑳市のインターチェンジ(以下IC)から、あさひ鎌数工業団地南のICまで開通するとメリットは大きい。ここまで完成した場合に、部分供用開始ができないか。

答 一部区間の開通によるメリットは大きいものがあると思われる。今後の事業の進捗状況により、県へ要望していきたい。

都市計画区域の見直しについて

問 銚子連絡道路のあさひ鎌数工業団地南のIC周辺は、住居系の用途地域で大型店舗や物流倉庫等の建築はできない。将来この地域の発展を考え、今回の都市計画見直しで、用途地域の変更をする考えはないのか。

答 今回の見直しでは、IC予定地周辺の用途を変更する考えはないが、今後策定する都市計画マスタープランの中で、上位計画との整合や関連事業の進捗を見ながら検討していく。

公園の充実について

問 天神公園について、今後の計画はどうなっているのか。

答 現段階で具体的な整備計画はない。現状は、第二中学校の東側道路の水道管の更新工事を行っており生徒の送迎場所として暫定的に利用している。当面の間は中学生の送迎場所として、現状の利用形態を維持したい。

問 工事完了後には公園整備を始めるのか。

答 地域のニーズを聞きながら、他の公園とのバランスを考慮し検討していきたい。

脳ドック検診への一部助成について

問 令和7年度から脳ドックの費用が一部助成になるようだが、その内容について伺う。

答 国民健康保険の35才以上の被保険者で市の特定健康診査の受診者、または短期人間ドックの受診者を対象に費用の一部を助成する予定。助成内容としては、脳ドックと人間ドックとの併用では4万円を上限とし、費用の7割を助成する。受検可能な医療機関は、旭中央病院を含めた4医療機関。新たな助成制度の開始により、疾病予防にさらなる効果が期待できるものと考えている。

地域の防犯・安全対策

問 交番や駐在所がない地域の安全対策は。また、それに代わる役割や場所はあるのか。

答 基本的には市内全域を旭警察署が管轄している。また、旭警察署員が人の往来が多い場所に移動交番を毎月11か所で開催している。

ている。警察による安全対策のほかに、市では2台の青パトによるパトロールを実施している。



犯罪抑止活動や情報発信を行う移動交番

家庭用防犯機器購入について

問 住宅に設置する防犯対策物品の購入費用の一部を助成できないか。

答 国や県の補助金等はないが、先進事例や近隣市町村を参考に、調査研究していきたい。

天神公園の安全な送迎機場所確保

問 安全かつ、天候に左右されない待機場所を望む声があるが市の見解は。

答 生徒の安全のための待機場所が設置できないか検討していく。

その他の質問事項
○リフィル処方箋について